

**#1** 主の出現を愛して、今の世を愛さないことによって、主の来臨のために自分自身の用意を整える  
**I** 主の再来が私たちにとって尊いなら、私たちは彼の出現を愛するでしょう(慕うでしょう)

2テモテ4:8 今からは、義の冠が私のために用意されているのです。かの日には、義なる審判者である主が、それを私に授けてくださいます。私だけでなく、主の出現を慕ってきたすべての人にも授けてくださいます。

**A** 主の出現を愛することと、主ご自身を愛することは、分離することができません。

**B** 私たちは、主が来るのを待ち望んでいるなら、彼の出現を愛する者たちであるべきです。

**C** 主の出現、主の再臨は、私たちにとって警告、励まし、動機づけです：

2テモテ4:1 私は神の御前と、生きている者と死んだ者を裁かれるキリスト・イエスの御前で、彼の出現と彼の王国によって、厳かにあなたに命じます。

**1** 私たちは主の出現を愛し、切なる期待と喜びをもってそれを待ち望むべきです。

啓22:12 見よ、私はすぐに来る。私の報いは私と共にあり、それぞれの働きにしたがって与える。  
20 これらの事を証しする方が言われる、「しかり、私はすぐに来る」。アーメン。主イエスよ、来たりませ!

ピリピ3:20 ...救い主、主イエス・キリストが来られるのを、私たちは熱心に待ち望んでいるのです。

**2** 私たちは主の出現を愛する生活をすべきです。このことによって私たちは落胆せず、最後まで忠信であり続けることができます。

**II** 「世と世にあるものを愛してはいけません。だれでも世を愛するなら、御父への愛は彼の中にありません」(1ヨハネ2:15)

**A** この世は邪悪な体系であり、サタンが体系化した案配です：

1ヨハネ2:16 なぜなら、すべて世にあるもの、すなわち肉の情欲と目の情欲と生活の虚栄とは、御父から出たものではなく、世から出たものであるからです。

17 世と世の情欲は過ぎ去っていきます。しかし、神のみこころを行なう者は永存するのです。

**1** 神はご自身の定められた御旨を成就するために、人を創造して地に住まわせました。しかし神の敵サタンは、神の創造された人を強奪するために、文化、教育、工業、商業、娯楽、宗教をもって、人を体系化することによって、神に反対するこの世の体系をこの地上に形成しました。

**2** サタンは地上のすべてのもの、特に人類と関係のあるもの、また空中のすべてのものを体系化して、彼の暗やみの王国とならせ、人々を占有し、人々を妨げて神の定められた御旨を完成させないようにし、人々をそらして神を享受させないようにしています。

**3** この世は父なる神に抵抗しており、世にあるものは神のみこころに抵抗しており、世を愛する者は神の敵です。

**B** 「全世界」、すなわちサタンの体系は、「邪悪な者の中に横たわって」います：

**1** 「全世界」は、サタンのこの世の体系と世の人々(墮落した人類)から成っています。

**2** 「横たわって」とは、邪悪な者が強奪し操る領域の中で、受け身的にとどまっていることを意味します。全世界と世の人々は、邪悪な者であるサタンが強奪し操る手の下で、受け身的に横たわっています。

**3** 1ヨハネ5:19で「邪悪」と訳されたギリシャ語は、致命的で害を与える邪悪な者、人に影響を与えて、邪悪で悪い者にしてしまう者のことを言います。そのような邪悪な者とはサタン、悪魔であって、全世界はその邪悪な者の中に横たわっています。

1ヨハネ5:19 私たちは神から出た者であり、そして全世界は邪悪な者の中に横たわっていることを、私たちは知っています。

**C** サタンは、物質の世またこの世の中にあるものを利用して、最終的に反キリストの王国の中へとあらゆるものを帰属させます。その時、この世の体系はその頂点に達し、そのあらゆる構成単位は反キリストのものであることが明らかにされます。

**III** 主の出現を愛することは、今の世(今の時代)を愛することと相対します

**A** 時代は、サタンのこの世の体系の一部分、一区分、一面です。それはサタンによって利用されて、人々を強奪し占有し、神と神の定められた御旨から彼らを引き離します。

**B** 2テモテ4:10で「今の世(時代)」は、私たちを取り囲み、引き寄せ、誘惑するこの世を指していません。私たちはこの世の今の時代と接触しなければ、この世と接触することはできません。

2テモテ4:10 なぜなら、デマスは今の世を愛して、私を捨て、テサロニケへ行ってしまい、

**C** デマスは今の世を愛しました。彼は今の世に引き寄せられたので、使徒パウロを捨てました。

**D** ローマ12:2でパウロは、私たちがこの時代にかたどられるのではなく、思いが新しくされることによって造り変えられるように勧めています：

ローマ12:2 またこの時代にかたどられてはいけません。むしろ、思いが新しくされることによって造り変えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、すなわち何が善であって、喜ばれ、完全なものであるかを、あなたがたがわきまえるようになるためです。

**1**2節の「この時代」は、この世の現在の、実際的な部分を示しています。それはからだの生活に敵対し、からだの生活に置き換わります。

**2**この時代にかたどられることは、今の時代の現在の流行を取り入れることです。造り変えられることは、有機的な要素が私たちの存在の中へと造り込まれるようにし、こうして内側の新陳代謝的な変化を生み出します。

**3**今の時代は、神のみこころである召会に敵対しているのです。私たちはそれにかたどられてはなりません。

**4**私たちはキリストのからだの中に生きようとするなら、今の時代に従ったり、この時代にかたどられたり、それに同形化されたりすべきではありません。

**5**私たちは今の時代を愛するなら、この世の側に付きます。私たちは主の出現を愛するなら、主の側に付き、主の権益のために主と共に戦います。

**IV**主を愛し、主の来臨を待ち望み、主の出現を愛する者たちは、勝利を得ます

**1**コリント16:22 だれでも主を愛さないなら、のろわれよ! 主は来られます!

**A**主の出現を愛することは、今日私たちが主を愛しており、主のために生きていることの証拠です。ですから、それはまた、私たちが主の褒賞を受けるための条件となります。

**B**主の出現を愛することは、私たちが正常な生活をすべきでないということの意味するものではありません。むしろ、私たちは主の出現を愛すれば愛するほど、今日ますます正常な生活をする必要があります。

**C**主イエスを愛し、彼を私たちの命とし、彼を生き、彼を大きく表現する者たちとして、私たちは彼の来臨を待ち望み、彼の出現を愛するべきです。このことは、私たち(彼の喜びの中に入り、救われて主の天的王国の中へと入り、義の冠を受けることを望んでいる者たち)の心の願い、また私たちの生活となるべきです。

**2**テモテ4:8 今からは、義の冠が私のために用意されているのです。かの日には、義なる審判者である主が、それを私に授けてくださいます。私だけではなく主の出現を慕ってきたすべての人にも授けてくださいます。

## 神戸に在る召会交わりと報告事項

### 1. 姉妹集会の集会場所について:

夙川地区の福音枠組みを強化するため、6月から第一大地区の集会場所を以下のように変更します。尚、5/24:本山、5/31:夙川で行います。

1週目:本山

2週目:夙川

3週目:本山

4週目:夙川

5週目:魚崎

### 2. 食事献金について:

主日の食事献金を以下に統一します。

大人:350円

学生(小・中・高・大):200円

乳幼児:無料

### 3. 水曜朝のリー全集通読時間について:

水曜日は、姉妹集会やリジョイスガーデンブレンディング等があるため、通読時間を8:40-9:10に時間を固定します。

### 4. 土曜8:30-9:00の預言準備集会担当按配:

5/20本山、5/27三宮・神戸

### 5. 月曜日の責任者と奉仕者の交わり:

5/22 19:55-20:25 六甲

20:30-21:00 魚崎・六アイ

5/29 19:55-20:25 三宮・神戸

20:30-21:00 全体

### 6. 4月献金報告:

詳細は別紙を見てください。

### 7. 勝又理充B・野口真海S婚約お祝い集会:

5/27(土)13:30~@京都七条集会所

### 8. Youtube福音集会担当按配:

5/28 六甲

6/4 三宮・神戸

6/11 魚崎・六アイ

6/18 YP

6/25 六甲

### 9. 2023年夏のブレンディングスケジュール:

詳細は別紙を見てください。

7月末から8月にかけて、諸召会とのブレンディングやSST、リジョイスガーデンブレンディング等を計画しています。スケジュールを確認して、なるべくブレンディングに参加してください。ブレンディングを通して、更にキリストのからだに豊かに建造されますように。

CP1主の出現を愛し、待ち望む生活をするこ  
 によって、落胆せず最後まで忠信であり続けることができる

IC主の出現、主の再臨は、私たちにとって警告、  
 励まし、動機づけです：**1**私たちは主の出現を愛し、切なる期待と喜びをもってそれを待ち望むべきです。**2**私たちは主の出現を愛する生活をすべきです。このことによって私たちは落胆せず、最後まで忠信であり続けることができます。

啓22:12 見よ、私はすぐに来る。私の報いは私と共にあり、それぞれの働きにしたがって与える。  
 20これらの事を証しする方が言われる、「しかり、私はすぐに来る」。アーメン。主イエスよ、来たりませ!  
 ピリピ3:20 救い主、主イエス・キリストが来られるのを、私たちは熱心に待ち望んでいるのです。

私たちは主の再来を待ち望んでいる間、彼を畏れることを学ぶべきです。ルカ12章で、主は金持ちについてのたとえを与えられました。その金持ちは自分のために一生懸命、富を蓄え、自分の魂が享受し、楽しむようにしました。しかし、神は彼に言いました、「愚かな者よ、今夜、彼らはあなたの魂を取り去ろうとしている」(20節)。私たちにある「今日」はすべて、真に主の恵みです。ですから、私たちに今日がある限り、私たちがまだ息をしている限り、私たちは主と彼の出現を愛し、彼が来られるのを待ち望み、彼が来られるのを...励ましとすべきです。

2テモテ4:1で、パウロはテモテに言います、「私は神の御前と、生きている者と死んだ者を裁かれるキリスト・イエスの御前で、彼の出現と彼の王国によって、厳かにあなたに命じます」。これはパウロが殉教する直前の勧めです。...主の裁きと王国によって、私たちが主の出現を愛する生活をすべきであることを、パウロはテモテに思い起こさせました。これは私たちに思い起こさせるものでもあり、私たちは落胆せず、後退せず、弱くなったりせずに、最後まで忠信であり続けることができます。

一世紀の終わりに、主は「見よ、私はすぐに来る」と言われました。それは、私たちが彼の再来の時に与えられる褒賞を考慮するためです。...私たちは、主が十九世紀以上の間、状況に耐えておられるので、ゆっくり戻って来られるのであると考えるべきではありません。私たちは今日の世界情勢を見る必要があります。私たちは次の数日の間に何が起こるかわかりません。この時代、物事は非常に速く起こります。ですから、私たちは祈り、目を覚ましていなければなりません。私たちはまた霊の中と、日常生活の中で用意を整えなければなりません。どうか主が私たちに覆ってください、私たちが目を覚まし、祈り、用意を整えた人となることができますように。

証1 圧迫される環境の中にある時、主の臨在を享受していましたが、すぐにでも主が来られたらいいのと思っていた。しかし圧迫される環境が過ぎ去り、比較的平穏な日常が送れるようになると、生ぬるくなっていると感じました。そのような時、団体的な教会生活の中で、福音と牧養に焦点を当てた生活になっていくにつれて、切実に主の名を呼び、祈らざるを得なくなりました。福音に出ていくために、また新人を顧みるために、自分には何の力もないと感じるからです。世の中の強い潮流と、それに影響されている自己のゆえに、主の再来を待ち望むことからそらされかけることがあります。しかし御言葉を享受し、また主を愛する兄弟姉妹が主にささげているさまを見る時、主の出現を愛する生活をすべきであることを思い起こさせられます。主を愛し追い求める兄弟姉妹たちと教会生活を送れることを感謝します。

証2 「キリストを目標とし、その目標に向かって走り続け、天からの賞を得る。後ろにあるもの全てを忘れ、全てを損失であると勘定する。ただキリストだけを至宝とする(中補421)」。これは、私が高校生の頃よく歌っていた詩歌です。最初は人生の目標が何であるかわかりませんでした。青少年の特別集会に参加してこの詩歌を歌ったことで、キリストを目標とすることができました。高校を卒業する頃に、訓練生の卒業集会に参加する機会があり、兄弟姉妹たちがクリスチャンの人生を勇ましく過ごしているのを羨ましく思いました。そして私は大学卒業後、訓練に参加することを決意し、主に祈りました。この時私はキリストを追い求める明確な目標をもって祈ることができました。

ピリピ3:14 キリスト・イエスの中で私を上を召してくださった神の賞を得るために、目標に向かって追い求めています。**15** こういうわけで、成人した者はみな、この思いを持つてはいませんか。

私は自分の中で生きるのではなく、自己から出て、かしらであるキリストの中へと成長し込み、キリストをもって建造のために機能する必要があると感じています。ビジネスライフは召会生活の一部ですので、仕事の時もキリストを経験する必要があることを認識し始めています。**祈り** おお主イエスよ、私は主の再臨を待ち望みます。主の出現を愛し、切なる期待と喜びをもって主を待ち望むことによって、落胆せず、最後まで忠信であり続けることができます。主の再臨は、私にとって警告であり、励まし、動機づけです。今の世を愛さずに、キリストを唯一の目標とし、目を覚まして祈り、日常生活の中で主の来臨に備えることができますように。

**CP2**この世はサタンによって体系化されているので、この世を愛さないために三一の神と御言葉に逃れる

**II**「世と世にあるものを愛してはいけません。だれでも世を愛するなら、御父への愛は彼の中にありません」(1ヨハネ2:15) **A**この世は邪悪な体系であり、サタンが体系化した案配です。1ヨハネ2:16 なぜなら、すべて世にあるもの、すなわち肉の情欲と目の情欲と生活の虚栄とは、御父から出たものではなく、世から出たものであるからです。1神はご自身の定められた御旨を成就するために、人を創造して地に住ませました。しかし神の敵サタンは、神の創造された人を強奪するために、文化、教育、工業、商業、娯楽、宗教をもって、人を体系化することによって、神に反対するこの世の体系をこの地上に形成しました。2サタンは地上のすべてのもの、特に人類と関係のあるもの、また空中のすべてのものを体系化して、彼の暗やみの王国とならせ、人々を占有し、人々を妨げて神の定められた御旨を完成させないようにし、人々をそらして神を享受させないようにしています。3この世は父なる神に抵抗しており、世にあるものは神のみこころに抵抗しており、世を愛する者は神の敵です。

**III**主の出現を愛することは、今の世(今の時代)を愛することと相対します **IV**主を愛し、主の来臨を待ち望み、主の出現を愛する者たちは、勝利を得ます

私たちは人類の歴史を研究するとき、この世がそれぞれの分野で著しい進歩を遂げてきたことを、認めないわけにはいきません。しかしながら、問題はこうです。この「進歩」はどのような方向に向かっているのでしょうか?このすべての発展の究極的な目的は何なのでしょう? ヨハネは私たちに、終わりの時になると、反キリストが起こり、この世に自分自身の王国を建てると告げています。

今日、一つの力があって、人を捕らえています。...こんなにも多く金銭について語られるのを、聞いたことがあるでしょうか? こんなにも多く衣食について考えたことがあるでしょうか? あなたはどこへ行こうとも、たとえクリスチャンの間でも、この世の事柄が会話の話題になっています。この世は召会の門口にまで進んできており、神の聖徒たちをも引き寄せて、自分の掌握下に置こうとしています。...そのような状況の中で、私たちはどこへ行くのでしょうか?...私たちは三一の神へ行く必要があります。三一の神だけが、サタンによって体系化されていないのです。三一の神へ行くと共に、私たちはまた神の御言へ行く必要があります。ですから、あらゆる物、あらゆる人、あらゆる事柄がサタンによって体系化されているので、私たちは三一の神と彼の御言に逃れる必要があります。

## 適用:ビジネスパーソン、大学院生編

**証**私は30歳の時に働き始めてから、会社の背後でサタンが働いており、人々を占有していることが分かりました。その結果、人々は金銭のために自分の魂を売っていました。啓18:12 (地の商人たちの)その荷は、金、銀、宝石、...13...戦車、奴隷、人の魂である。 **FN**人の魂バビロンによって売られた荷の第一項目は、金であり、最後の項目は人の魂です。「人の魂」は、雇われるために自分自身を売る人々です。これは来たるべきバビロンだけでなく、今日の世界をも描写しています。人々は自分の魂を、自分の命を、すなわち自分自身を、その職業に売って、神と彼らの永遠の運命を無視しています。

彼らは自分の雇用と収入のために、奴隷のように上司に盲目的に従い、自身の道徳と家庭を犠牲にして、長時間残業、夜の飲み会、休日のゴルフ等に付きあっていました。彼らは食べ飲みするだけでなく、多くの淫行を行っていました。私にも、サタンが脅迫してきて、「皆と同じように、この世の流れに従わないと会社をクビになり、収入を失う」と言ってきました。私はその脅迫に恐れて弱くなりましたが、神の言葉に逃げ戻り、信仰を振り絞って祈りました、「主イエスよ、私は全時間訓練で見た天のビジョンや多くの証を否んで、この世に戻り、この世を愛することはできません。あるいは、日本では上司の誘いに付いて行かないことは、職を失う危険性を伴うのかもしれませんが。しかし、私はダニエルと3人の友人に倣い、信仰によってこの世の潮流から出てきます。たとえそれによって、私が会社を解雇されるとしても、私は信仰を保持したいのです。私は、主にある信仰は日本社会の文化的な障壁に打ち勝つと信じます。悪魔サタン、私から退け!」。このように祈ると、自分の信仰の言葉を聞いて、サタンの脅迫によって弱められていた私は、力づけられました。祈る度に、私の内側で信仰が少しずつ増し加わっていきました。キリストと召会に反対する会社の障壁がいくら強くても、主はそれに打ち勝つて余りがあると私は証しすることができます。私は休日のゴルフを断り、仕事の後の夜の飲み会を断り、残業の付き合いを断りました。そして、義を保持することができました。しかし、私は一度もクビになったことはありませんでした。私は主が共におられ、業績において大いに成功していたので、長く会社に留まるように、機会がある毎に要請されました。後で気付いたことですが、私はそんなに深刻になる必要はなかったのです。なぜなら主は既にサタンを滅ぼしました。私はただキリストのからだの生活の中で、主の勝利を保持していれば良かったのです。ハレルヤ、イエス勝利、凱歌あり!